

STAGE+を楽しむ(333)(HP 収載)
—エフゲニー・キーシンのショパン—

1. 始めに

前報(332)に引き続き、STAGE+のエフゲニー・キーシンのショパンの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、前報(332)に引き続きエフゲニー・キーシンのショパンの演奏を選びました。

エフゲニー・キーシン・ブレイズ・ショパン

演奏:

エフゲニー・キーシン, カーティス交響楽団, ジェイムズ・レヴァイン

曲目:

フレデリック・ショパン

ピアノ協奏曲 第2番 ヘ短調 作品21

夜想曲 第7番 嬰ハ短調 作品27の1

夜想曲 第10番 変イ長調 作品32の2

スケルツォ 第4番 ホ長調 作品54



3. 試聴の経過

前回は引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結しています。

また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN iPurifier Pro の交換後に元に戻しています。

今回は、PC の受信からクロック入力の修理済の Brooklyn DAC+に送り出しています。

また、PC と Brooklyn DAC+の間の介在は、iPurifier USB からインフラノイズの USB アキュライザーに交換しています。クロック入力に ABS-7777 を適用しています。

収録の詳しい由来は分かりませんが、ライブ収録からのアルバムのような演奏です。

ピアノ協奏曲第 2 番は、この曲には意外とも言えるようなきらびやかな演奏です。

夜想曲第 7 番と夜想曲第 10 番は、夜想曲らしく、静かな瞑想的な演奏です。

スケルツォ第 4 番は、4 曲あるスケルツォの一つで、表情を露わに表現するような演奏です。

4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+に送り出し、PC と Brooklyn DAC+の間には USB アキュライザーに交換した結果、ピアノ協奏曲第 2 番、夜想曲の 2 曲、スケルツォのそれぞれのライブ収録の雰囲気が再現されました。

以上